

令和7年度 学校経営方針

弘前市立第二中学校長

1 学校教育課題

- (1) いじめ・不登校を未然に防ぐ人間関係を基盤とした生徒指導
- (2) 「分かった、できた」と実感できる学習指導
- (3) 自己肯定感を高める体験活動
- (4) 地域とともにある学校づくり

2 学校教育目標

**高い理想を持ち、生き生きと、
協力し、人の役に立つ**

自分の将来を思い描き、夢や目標をもつことにより、その実現に向けて、自分なりに工夫しながら学び、活動することが可能となる。自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考えることにより、人生を生き抜く確かな学力を身に付けられるのである。

しかし、どんなに高い理想や希望があっても、心や体が健康でなければその願いは叶わない。特に、自分を他の人と比べたり、他の人の言うことを気にして自分の良いところが見えなくなったり、自分に自信が持てないところや嫌いなところを必要以上に意識してしまったりすることで、何かに挑戦しようとする気持ちを失ってほしくない。一人一人には、それぞれのよさや可能性の種があるということを忘れず、生き生きと学校生活を送ってほしい。

私たち人間は、それぞれが個性をもった個人として、自分自身の生き方や考え方をもっている。誰ひとりとして同じ人はいない、唯一無二のかけがえのない存在である。一人一人が違う存在であるということを認め合い、そして、その違いを尊重してより良い人間関係を築き、一人一人の個性を生かし合いながら、周りの人たちと協力して課題を解決することが大切である。感謝の気持ちを忘れず、人の役に立つことを自らの幸せにできるような人に育ってほしいと願っている。

3 努力目標（第二中学校区 目指す子ども像）

**進んで学び、粘り強く学び続ける生徒（知）
仲よく、思いやりの心を実践する生徒（徳）
心身ともに健康で、生き生きした生徒（体）**

4 目指す学校像

安心して登校（入学）でき、満足して下校（卒業）できる学校

安心して登校できる学校とは、いじめのない学校、不登校生徒の出ない学校、登下校を含む学校生活で安全が確保されている学校である。

満足して下校できる学校とは、落ち着いた学習環境の中で「分かった、できた」という充実感が得られる学校、学校行事、生徒会活動、部活動などで自主的・意欲的な参加による達成感や帰属感などが得られる学校である。

5 学校経営の基本方針

生徒の心の機微を捉え、ほめ・認め・励まし、主体性を育む

コロナ禍によって、地域の結びつきが弱まり少子化が一層進むなど、学校を取り巻く環境にも様々な影響が見られるようになってきた今、中学校の教職員である私たちは、地域の希望・宝として、一層貴重な存在となっている子供たちの教育に携わる職責の重さを改めて自覚しなければなりません。さらに、第二中学校等複合施設整備事業が進められることを踏まえ、地域コミュニティを構成する学校の役割や外部からの期待の大きさについても再認識する必要があります。

また、昨年度、一昨年度の各種調査結果によると、生徒の実態として、自己肯定感、学び方・学ぶ意義への理解、社会貢献や学校の教育相談体制に関する項目の数値が低くなっており、課題が見られます。

これらのことを踏まえ、今年度の学校経営の基本方針として、自分の意志・判断によって何をすべきかを考え、自ら責任をもって行動しようとする「主体性」を育む教育活動を展開することで、まずは、生徒の自己肯定感を高めていきたい。

そのためには、教職員がチームとなって生徒の傍に寄り添うことで、小さな変化をも捉え、ほめ・認め・励ますことが重要であり、常に教師の指示通りに活動させるのではなく、時には、失敗覚悟で生徒たちに任せ、失敗から学ばせる場面も必要です。失敗しても、チャンスを与え方向性を示してあげるなど、生徒たちを長い目で見守ることで、「主体性」を育み、将来、生徒自らがもつ能力を最大限発揮できるよう、その素地をつくってあげることが、中学校教職員の使命だと考えます。

令和7年度は、以上のような使命感をもち、目指す教師像を踏まえながら、全教職員が一丸となって、目指す学校像・子ども（生徒）像の実現を目指したい。

目指す教師像「意欲を引き出す、変われる教師」

- | | |
|------------------|--------------------|
| ① 教育専門職としての自覚と責任 | ② 改善意識を常にもち、授業で勝負 |
| ③ キャリア教育の視点をもつ | ④ 周囲と連携・協力し、組織的に動く |

6 学校経営の重点

(1) 安心して登校できる学校づくりに向けて

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ① 困ったときにいつでも相談できる「生活集団づくり」 | [特別活動] |
| ② 生活習慣（二中基準）を育成するための具体的な取組 | [特別活動] |
| ③ 人間の多様性を認識し、命を大切にする道德教育の推進 | [道德教育] |
| ④ 生徒理解等に基づいた教育相談の充実 | [生徒指導] |
| ⑤ 問題行動への適切な初期対応と積極的な生徒指導の推進 | [生徒指導] |
| ⑥ 家庭と連携し、健康で安全な生活ができる生徒の育成 | [保健安全指導] |
| ⑦ 精神的にも環境面でも安全・安心な学校づくり | [危機管理] |

(2) 満足して下校できる学校づくりに向けて

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ① 困ったときにいつでも相談できる「学習集団づくり」 | [学習指導] |
| ② 学習習慣（学校・家庭）を育成するための具体的な取組 | [学習指導] |
| ③ 自主的な態度を育て、話し合いができる学級活動の推進 | [特別活動] |
| ④ 主体性を生かした創意工夫ある生徒会活動の充実 | [特別活動] |
| ⑤ 職場体験学習など地域と関わりながら学ぶ体験活動の充実 | [キャリア教育] |
| ⑥ 郷土に対する愛着心と郷土を追究し発信する力の育成 | [総合的な学習] |
| ⑦ 一人一人の教育的ニーズに基づいた適切な指導・支援の充実 | [特別支援教育] |